

..... 編集後記

◆台風・大雨に地震に不規則な天候と災害が続きましたが、ようやく数日穏やかな小春日和となりました。でも、すでに冬、北方からは冬将軍の足音が聞こえるようになりました。新潟県中越地震の復旧作業もようやく進み始めたようです。本格的な雪の前に冬を越すに十分な対策が講じられてほしいものです。

◆さて地質ニュース今月号は、中越地震災害の速報、モンゴルの地質の紹介、環境汚染と地球化学調査、火山災害など、バラエティーに富んだ内容となりました。

◆表紙・口絵は吉見氏ほかの皆さんによる中越地震被害調査と丸山氏ほかによる中越地震に伴う地震断層の緊急調査の速報を投稿いただきました。

地震の被害はテレビでも度々放映されてはいますが、写真でじっくり見ますと、改めて地震のこわさを感じると共に、テレビ画像では気がつかなかったことも見えてきます。調査が一層進展し、今後の防災に役立つ情報が得られることを期待したいと思えます。

◆井上氏ほかの危険化学物質による環境汚染、その3では、マイクロネシア連邦ポンペイ島の珊瑚に残された環境汚染と対策以後の記録が見事に解説されています。南の楽園にも目に見えない汚染が進んでいる化学物質による汚染の怖さと対策の重要性がよく理解できました。

◆柏木氏ほかのモンゴルの地質探訪記(その1)に

は、まずセミナーと放散虫化石の話、これからも興味深い話が続々と聞かせてもらえそうで楽しみです。口絵にはモンゴルらしい写真も載っています。

◆松本氏のモデリングの基礎知識：用語と概念は難しそうな話をやさしく解説してくれています。ためらっていた若者がこれを機にということになってほしいものです。

◆今井氏ほかには最近完成した全国の河川堆積物を使った地球化学図の全体像を紹介していただきました。約3,000試料について53元素の分析データという膨大な情報。今回の話は序論に過ぎません。より詳しい情報が産総研のホームページで公開されていますので積極的に利用していきたいものです。

◆御子柴氏ほかには上記地球化学図分析試料の画像について紹介していただきました。全国の川砂が見られるようになったこと、またデジタルカメラでもこんなにきれいな画像が作れることは驚きです。是非産総研のホームページをご覧ください。

◆須藤氏の降下火山灰災害は同氏が永年にわたって収集されてきた新聞報道資料から得られた様々な情報を集大成したもの。25ページにおよぶ超大作です。資料としての価値が大きいと考え、敢えて分割せずに一挙に掲載いたしました。

◆今年一年ご愛読ありがとうございました。災害の多い一年でしたが、来年は良い年になってほしいものです。皆さん良いお年をお迎え下さい。

(須藤定久)

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤定久

副委員長：山本茂男

委員：高木哲一・丸山 正・高橋裕平・

光畑裕司・飯笹幸吉

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3603

Fax. 029-861-3602

地質ニュース	第604号	2004年	12月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
2004年12月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

© 2004 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ